



一般社団法人

日本ガス石油機器工業会

本日のご説明内容

I. 工業会のご案内

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

1. JGKA 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会 のご案内

当工業会は、

1961年（63年前）に設立、

家庭用のガス・石油機器及び関連部品製造及び販売会社 86社

（2024年4月現在）

で構成される団体です

対象製品例(ご家庭でおなじみのものばかりです)



ガスコンロ



カセットこんろ



ガス・石油給湯機・ふろがま



ガス・石油暖房機



ガス栓



一般社団法人

日本ガス石油機器工業会のご案内

1. 事業活動内容

事業名	活動内容
製品安全事業	安全性が向上した最新機器の普及推進、長期使用製品の安全性確保のため点検の必要性周知、予見可能な誤使用事故低減のため事故分析に基づいた啓発課題の抽出、経年劣化によるリスク等の周知・啓発等
需要促進事業	国のエネルギー政策に対応したガス・石油機器の確固たる位置付け、生活価値に資する機器の普及
省エネ・環境事業	低炭素化社会及び循環型社会の形成に向けたガス・石油機器の更なる省エネルギー・省資源・リサイクル
標準化事業	ガス・石油機器に関連する測定方法の標準化・基準の策定、国際標準化活動
情報調査事業	環境の変化に迅速に対応し、行政や関連団体との連携を通じた情報の収集、事業推進への反映
紛争処理事業	ガス・石油機器による事故クレーム等に係る消費者等からの相談・問い合わせへの適切な対応

JGKA 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会のご案内

1. 事業活動内容 ①製品安全事業

安全啓発チラシを作成し、全国の880箇所の消防署へ配布

古いコンロは火災リスクに要注意!
 Siセンサーが安心を見守っています。
安心替えをおすすめします!
 Siセンサーを正しく使って安心調理!

ガスコンロによる火災は年間約2400件発生
 そのほとんどが「調理中のうっかりミス!」

我が家の火災リスクチェックリスト

- 調理中にその場を離れてしまったことがある**
調理中は、その場を離れてしまったことが多くあります。調理中は、必ず火を消すことを確認してください。
- コンロの近くに燃えやすい物が置いてある**
コンロの近くに燃えやすい物を置いておくと、火災の原因になります。
- 火をつけたまま、コンロ側のものをとろうとした**
調理中に、コンロ側のものをとろうとした場合、火災の原因になります。
- グリル庫内に汚れがたまっている**
グリル庫内に汚れがたまると、火災の原因になります。

Siセンサーコンロ普及で火災事故が減少中!

ストップガスコンロ火災チラシ

石油暖房機を安全に正しく使う 8 POINTS

- 必ず火を消して給油! 給油後、タンクの灯油漏れがないか確認してセット!**
給油機は、必ず火を消して給油してください。給油後、タンクの灯油漏れがないか確認してセットしてください。
- 衣類などの乾燥はNG!**
石油ストーブの上に衣類などを干して乾燥させないでください。万一故障が発生した場合、火災の原因になります。
- カーテンやふとん、紙類など燃えやすい物をそばに置かない!**
燃えやすいものを近くで使うのはやめましょう。石油ストーブの近くや器具内にカーテンやふとんを置くのはやめましょう。
- スプレー缶を暖房機の上や温風のある場所に置かない!**
熱での圧力上がり、爆発し、危険です。
- 火災の原因に! 農機具などの燃料用のガソリン・混合油は絶対に使用しない!**
ガソリン・混合油は、絶対に使用しないでください。
- 1時間に1~2回(1~2分)換気を行ってください!**
換気が不十分だと、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。換気をするときは、換気扇を使用したり、2か所以上の開口部を開放して換気ができます。
- FF式石油暖房機や半密閉式石油暖房機は定期的に点検を!**
暖房機器には寿命があります。その寿命が近づいている機器は点検してください。本体と給排気管が正しく設置されていないと、運転中に排気が室内に漏れて危険です。給排気管のトラブルは、必ずしも目に見えていない場合があります。定期的な点検をお願いします。
- 不良灯油は使わない!**
安売灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の液体・水が混入した灯油など)を使用しないでください。異常燃焼や故障のおそれがあります。長期保管した灯油は変質している可能性があります。必ず購入時から持ち越したものの、日光の当たる場所で長期保管したものは、使用前のタンクに交換してください。

石油暖房機の安全啓発チラシ

カセットボンベの破裂事故にご注意を!

カセットボンベを使う器具は…美味しく楽しいメニューづくりに役立ちます。でも…不注意や誤使用、過熱の要因で破裂事故を起こせば、すべてが台無し!

特に! 以下のような取扱いを絶対にしないでください!

- 容量カバーを暖房調理器に載せない
●容量カバーの上にかかる大きな重量を載せない
●こんろの口を大きく開けて使用しない
- 電圧調理器の上に置かない
●電圧調理器の上にこんろを置かない
- 炭の火起こしなど使用禁止の使い方をしない
●こんろの上で炭の火起こしをしない
●石炭など燃焼する調理器具を使わない
- 壊ったガスを室内でガス抜きしない
●室内では絶対にカセットボンベのガス抜きをしない
●ボンベに穴を付けてガス抜きをしない
- カセットボンベは異常加熱されると破裂します。
●必ず40℃以下の場所に置いてください。

カセットこんろ・ボンベの安全啓発チラシ

JGKA 一般社団法人 日本ガス石油機器工業会のご案内

1. 事業活動内容 ①製品安全事業

消費者団体との連携による消費者安全啓発活動の推進

消費者対象の安全啓発活動として、全国消防を窓口にした婦人防火クラブの講習会に講師を派遣している。

また、全国女性団体連絡協議会主催の製品安全セミナー・防災学習会への講師派遣についても受付し講師派遣している。

2023年度実績	全国41会場
2024年度実績（途中）	全国20会場



岐阜県各務原市会場



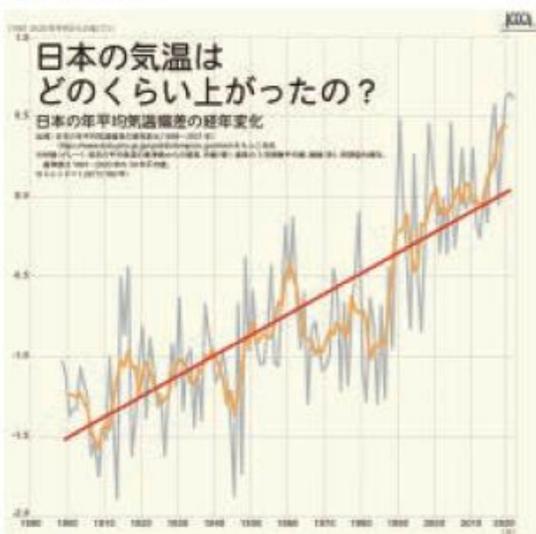
広島県安芸太田町会場

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

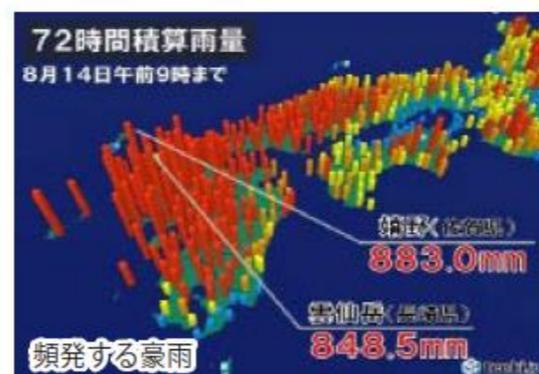
1. 2050年カーボンニュートラル実現に向けて

・気候変動は、人間の活動が要因 「疑う余地がない」

<国内では>



出典) 日本の年平均気温偏差の経年変化 (1898年~2021年)
(https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html) より



出典: tenki.jp 「総雨量 1000 ミリ超えも 8月ひと月分の3倍の雨川の氾濫発生命を守る行動を」
(<https://tenki.jp/forecaster/deskpart/2021/08/14/13663.html>)

<海外では>



異常高温による山火事 (アメリカでの山火事)



世界各地で大洪水の多発 (写真はタイ)

気候変動の要因: CO₂ 等の温室効果ガス (GHG) の排出 (排出量 > 森林等による吸収量)

国連の気候変動に関する政府間パネル (IPCC) は、

人間が地球の気候を温暖化させてきたことに「疑う余地がない」
とする報告書を発表

・カーボンニュートラル[®]の実現に向けて、
誰もが無理なく、あらゆる主体が取り組むこと、が求められています (環境省 HP より)
※カーボンニュートラル (CN): CO₂をはじめとする温室効果ガスの排出量と森林等による吸収量を均衡させること

・世界 120 以上の国と地域が

「2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げています

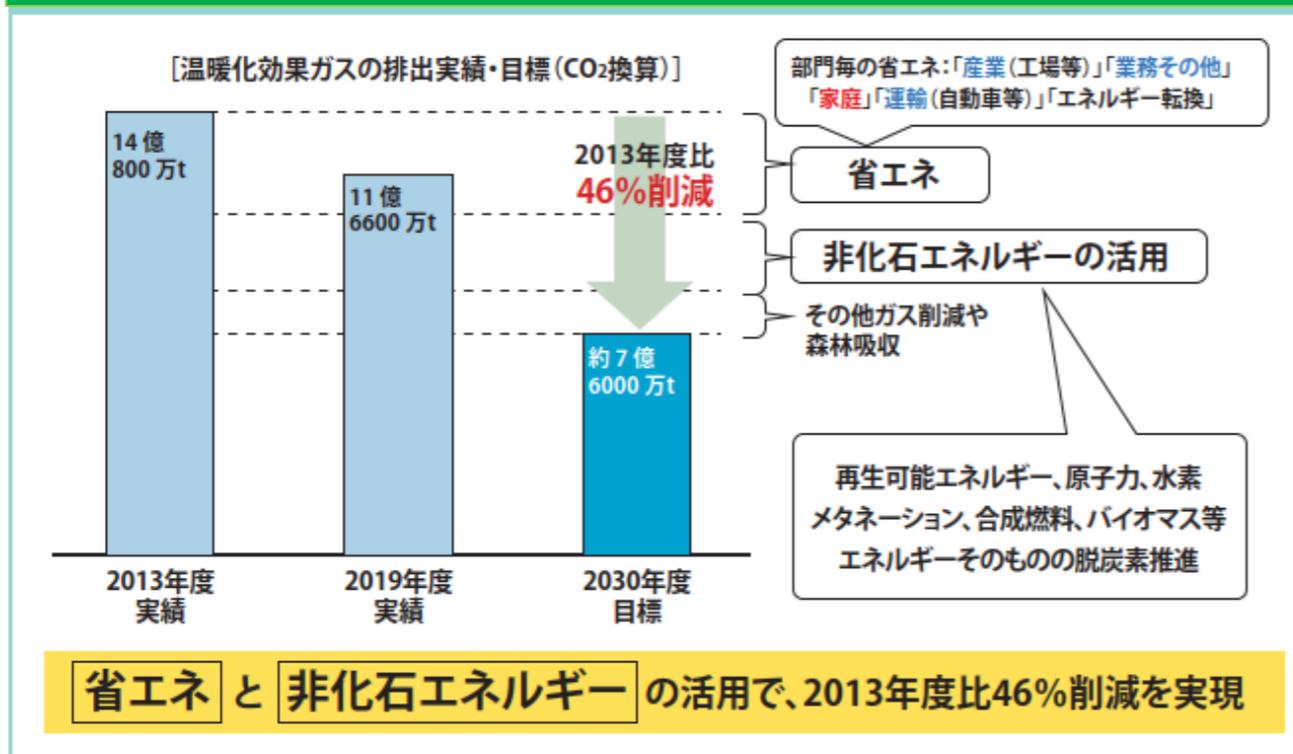
⇒ 日本も、2020年10月に、「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

2. 2050年カーボンニュートラル実現に向けた中間目標

・家庭でのCO₂削減目標は**66%減**！

●2030年度に向けてCO₂等温室効果ガス排出量を大幅に削減



● 主な部門毎の削減目標

(単位:百万t-CO₂)

部門	2013年度 実績	2019年度 実績	2030年度 目標・目安	削減割合 13年度比
産業	463	384	289	▲38%
業務その他	238	193	116	▲51%
家庭	208	159	70	▲66%
運輸	224	206	146	▲35%
エネルギー転換	106	89.3	56	▲47%

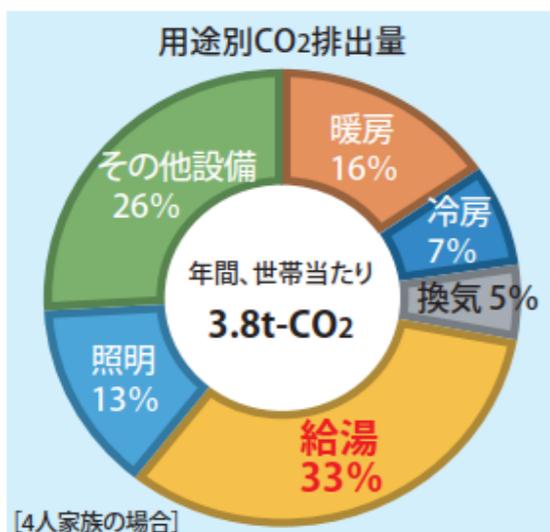
「家庭部門」は **66%削減** と非常に高い目標 (2013年度比) **(2013年度の1/3)**

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

3. 中間目標達成に向けた国の高効率給湯機普及目標

・家庭（住宅）から排出されるCO₂の1/3が「給湯」から

● 家庭部門（住宅）のCO₂排出量の内訳（世帯あたり）



※ [日本ガス石油機器工業会試算値]
4人家族、6地域（東京地区など）、都市ガス用給湯器をお使いの家庭
「住宅に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム」（国交省他がWEB公開している住宅エネルギー算出プログラム）により算出した、上記ケースにおけるエネルギー量（一次エネルギー消費量）をベースに、都市ガスの場合のCO₂排出量を試算

★家庭（住宅）から排出されるCO₂を減らすためには、
給湯からの排出を減らすことが、大事!!

- ① 給湯（お湯）の使い方を工夫する（省エネな使い方）
- ② 高効率型の給湯機に取り替える

CO₂削減に貢献 高効率給湯機 3050 万台普及に取り組みます

- 日本ガス石油機器工業会は、家庭部門におけるCO₂排出削減に貢献する活動を進めます
それに向けて高効率給湯機の「3050万台（2030年度）」普及促進に取り組んでいきます

<経済産業省による高効率給湯機の普及見込（累積台数）>

	2019年度 実績	2030年度 見込
ガス・石油 高効率給湯機	1050 万台	3050 万台
燃料電池	30 万台	300 万台
ヒートポンプ給湯機	690 万台	1590 万台

年間260万 tのCO₂削減
を実現（2013年度比）

（試算条件）平均世帯人数2.2人として試算

（出典）資源エネルギー庁_第34回省エネルギー小委員会_事務局資料②

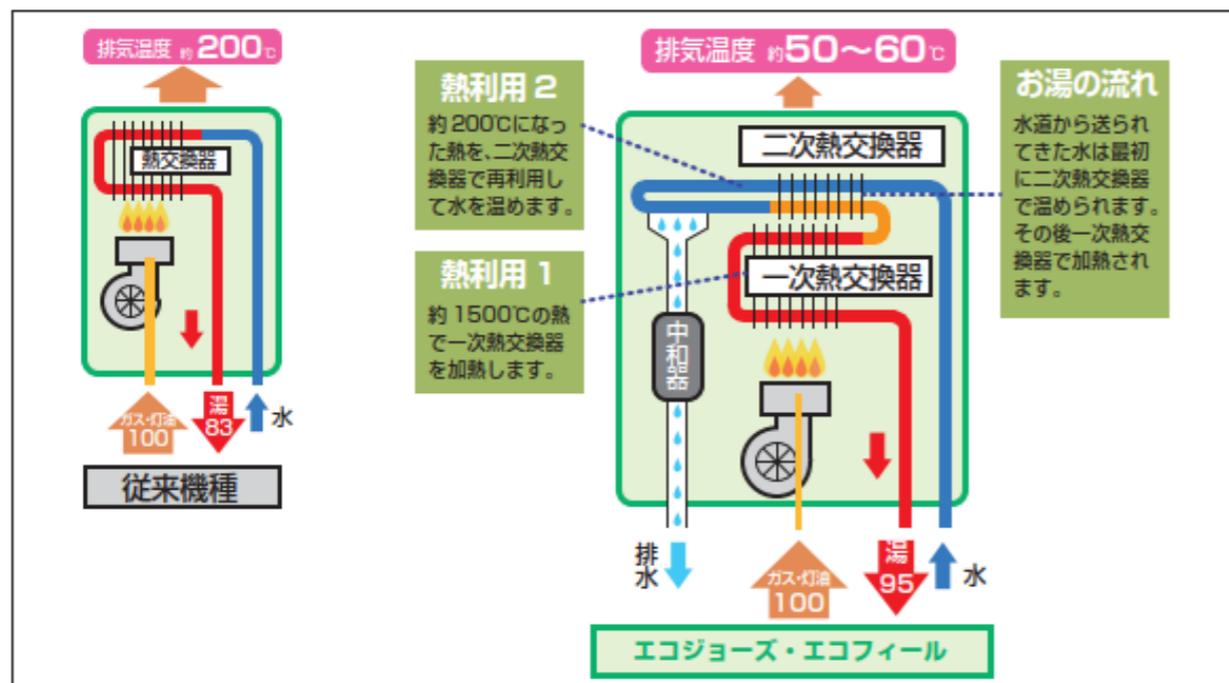
II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

4. ガス・石油高効率給湯機とは

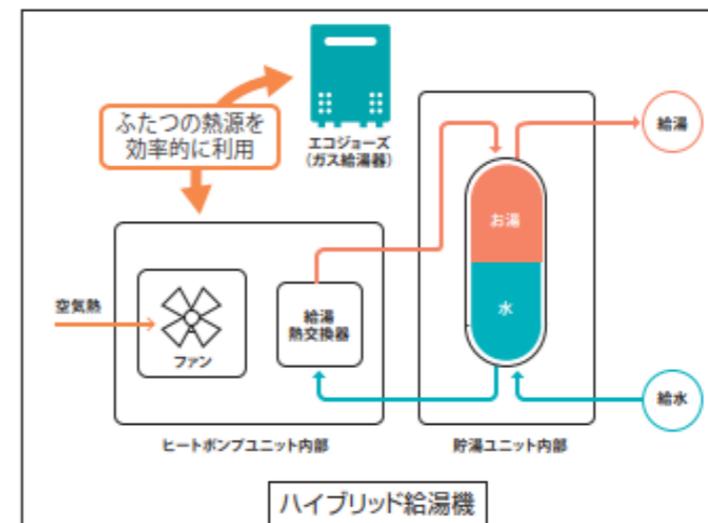
・CO₂削減に貢献する ガス・石油 高効率給湯機

● エコジョーズ(ガス)、エコフィール(石油)

お湯を沸かすときに発生する温水機器の排熱を上手に利用することで、省エネを実現しています。一次熱交換器を通った後の約200℃の排熱を利用し、二次熱交換器で水を温めることで、**熱効率は従来の80~83%から95%にまで大幅に向上しました。**



● ハイブリッド給湯機



電気でお湯を効率よく沸かす「ヒートポンプユニット」と、そのお湯を貯めておく「貯湯ユニット」、追い焚きや大量のお湯を使う時に作動する効率の良い「エコジョーズ」の3つのユニットで構成されています。

貯湯ユニットには、ヒートポンプ効率が非常に高くなる45~50℃のお湯を、一日で使い切る量だけ沸かして貯湯することで、家庭用給湯器の中で最高クラスの省エネ性能を実現します。貯湯ユニットのお湯を使い切っても、バックアップ熱源機があるので安心です。

これにより、約120~140%相当の給湯熱効率を実現し、CO₂排出量も約50%になります。

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

5. CO2排出削減と消費者に対するガス・石油高効率給湯機の貢献

・生活の中でCO₂を減らそう！ ～高効率給湯機に取り替える～

機種名	CO ₂ 削減率	省エネ効果 (年間)
ガス高効率給湯機 CO ₂ 排出量: 従来型給湯機 100% / エコジョーズ 約 86% (約 14% 削減!)	ポイント <ul style="list-style-type: none"> ● 給湯効率 95% 排気熱を上手に再利用 ● ガス代 約 14% 節約 (お湯の使い方が同じでも節約) ● CO₂ 排出量 約 14% 削減 	年間の省エネ効果 12,189円 / 163kg
石油高効率給湯機 CO ₂ 排出量: 従来型給湯機 100% / エコフィール 約 87% (約 13% 削減!)	ポイント <ul style="list-style-type: none"> ● 給湯効率 95% 排気熱を上手に再利用 ● 灯油代 約 13% 節約 (お湯の使い方が同じでも節約) ● CO₂ 排出量 約 13% 削減 	年間の省エネ効果 8,763円 / 178kg
ハイブリッド給湯機 ECO ONE ユコア HYBRID CO ₂ 排出量: 従来型給湯機 100% / ハイブリッド 約 50% (約 50% 削減!)	ポイント <ul style="list-style-type: none"> ● 年間給湯効率 約 140% ガスと電気を上手に利用、湯切れの心配なし ● ガス・電気代 約 50% 節約 (お湯の使い方が同じでも節約) ● CO₂ 排出量 約 50% 削減 	年間の省エネ効果 47,864円 / 605kg

[主な試算条件] 4人家族、東京地区
 都市ガス料金 ※出典元：都市ガス事業便覧（平成28年度地域別平均実績より）
 灯油価格 ※出典元：資源エネルギー庁給油所小売価格調査 2022/1/4 灯油配達価格より、東京地区価格
 電気料金 ※出典元：全国家庭電気製品公正取引委員会（令和4年7月改訂電力料金の目安単価より）

出典（一社）日本ガス石油機器工業会作成
 「給湯からはじめよう！おうちのCO₂削減！」10

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

6. 一次エネルギーにおけるガス・石油高効率給湯機の貢献

(1) エネルギー消費性能計算プログラムによる省エネ設備の一次エネルギー及びCO₂排出量削減比較

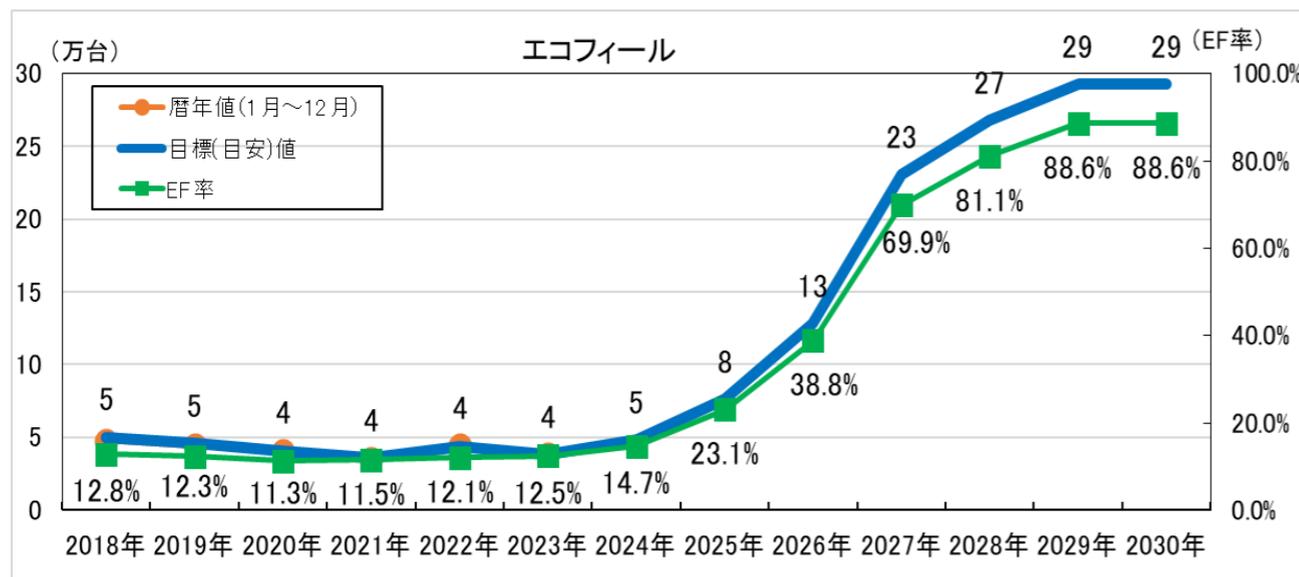
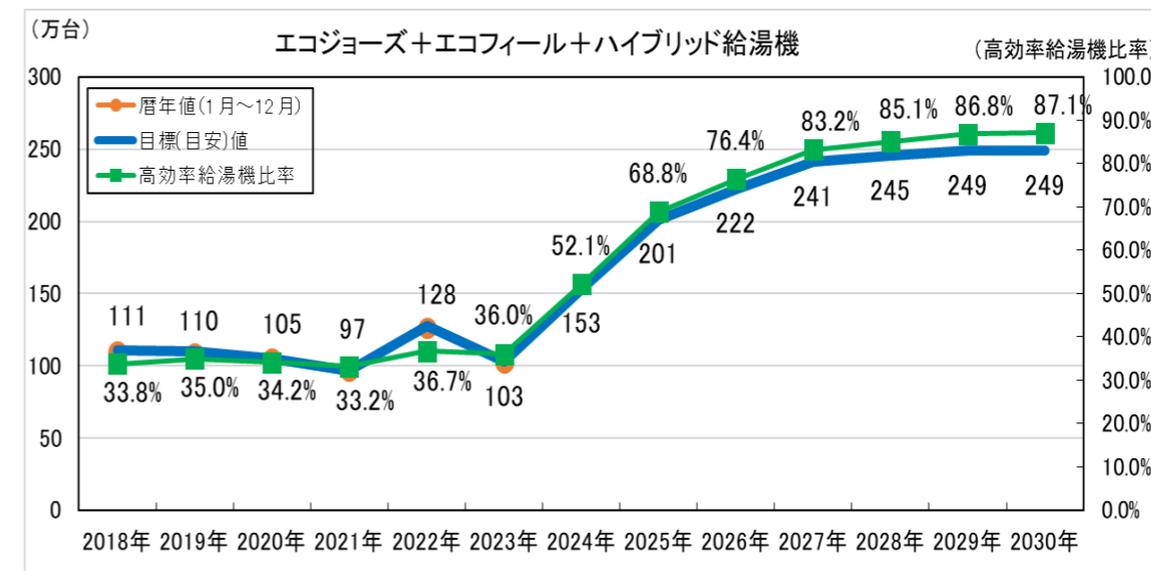
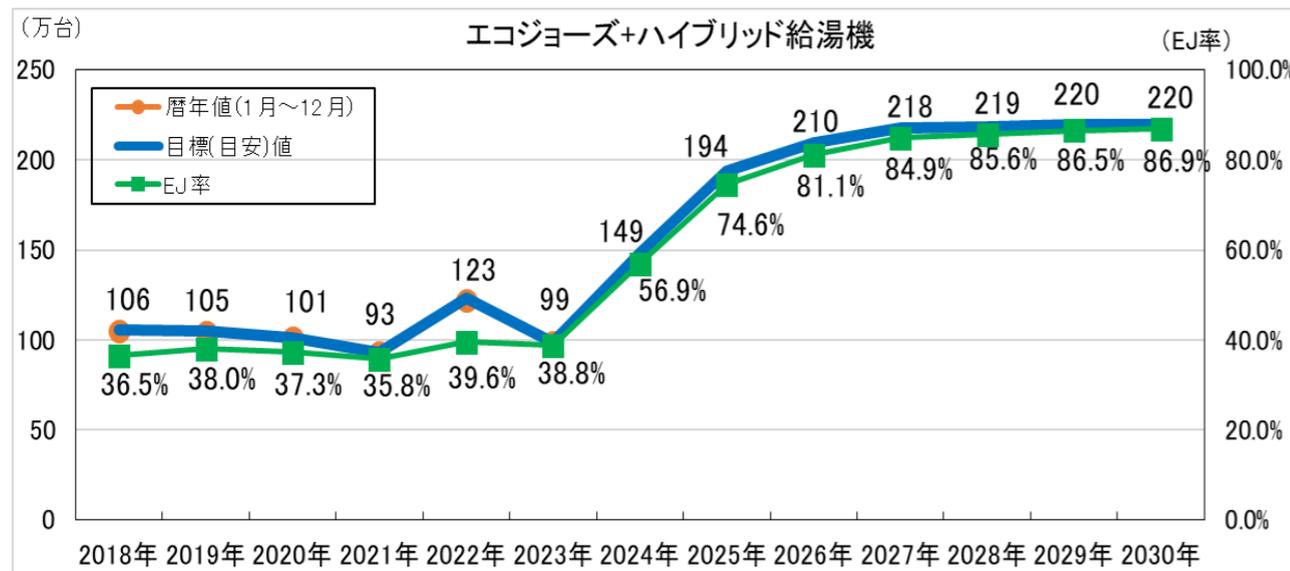
<1設備 or 1部品を交換、断熱強化した場合の効果>

交換設備、断熱強化部品		一次エネルギー削減量	備考
		(MJ)	
A. 給湯器	①従来型給湯器 → エコジョーズ	3,030	
	②従来型給湯器 → ハイブリッド給湯機	10,576	
B. 開口部	①1F外壁面の全ての窓断熱強化 (10ヶ所)	3,211	
	②1F LDKの全ての窓断熱強化 (4ヶ所)	2,113	
C. 高断熱浴槽		648	
D. 節湯水栓	①節湯シャワー (手元止水機能付)	1,531	
	②キッチン節湯水栓 (手元止水機能付)	1,148	
	③キッチン水優先シングルバ-水栓	436	

試算条件: ・6地域、床面積:120.08m² (=4人家族)、・浴室等がある、ふろ給湯機(追焚あり)
・断熱条件; H4年度省エネ基準

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

7. 2030年3050万台にむけた高効率給湯機実績とシミュレーション



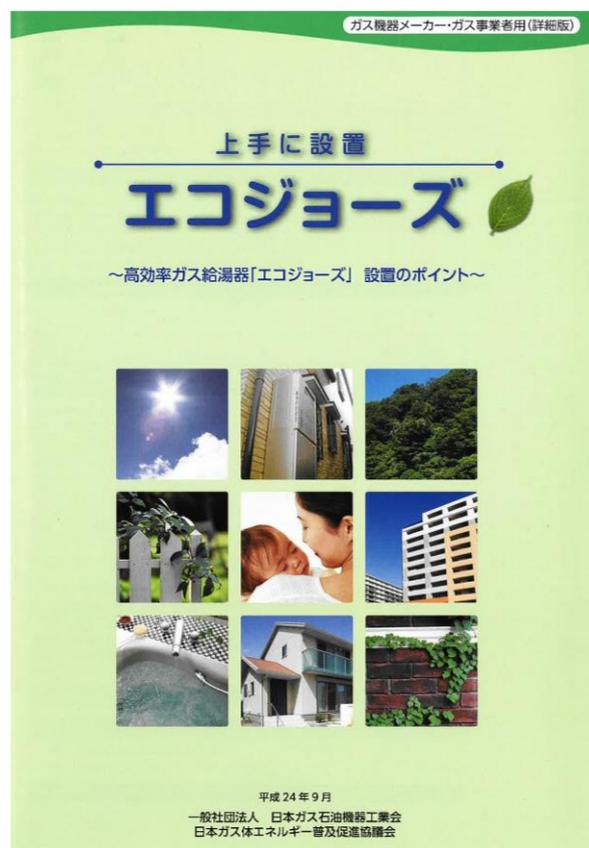
★2030年3050万台を実現するためには、ガス+石油高効率給湯機割合（エコ率）を
36% (2023年) → 87%
 までに引き上げる必要がある。

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

8. 2030年3050万台にむけた取組み

(1) エコジョーズのドレン排水

① ドレン排水施工方式の再周知



2012年コラボ共同発行設置施工マニュアル冊子の
リニューアル

Contents

はじめに	1
◆ 本書の目的	1
◆ エコジョーズ化宣言の背景	2
1 エコジョーズの特長	3
1.1 潜熱回収型高効率給湯器(エコジョーズ)の特長	3
2 国の規制緩和について	6
2.1 エコジョーズ設置における容積率緩和制度の適用について	6
2.2 下水道法における取扱い(ドレンに関するガイドライン)	8
3 ドレン排水の処理について	9
3.1 ドレンの発生量と水質	9
3.2 ガイドラインの位置づけ	10
3.3 ドレン管の施工方法	12
3.4 ドレンアップ方式	20
4 ガス機器の設置基準及び実務指針(第7版)に準じた運用例	23
4.1 開放廊下に面したPSIに設置する場合①	25
4.2 開放廊下に面したPSIに設置する場合②(排気延長)	26
4.3 その他の設置	26
4.4 開放廊下に面したアルコーブに設置する場合	27
4.5 指針①を満足する開放廊下の開口部に30cm程度の垂れ壁がある場合の注意事項	28
4.6 バルコニー(ベランダ)、インナーバルコニーに設置する場合の基準	28
4.7 戸建住宅の屋外に設置する場合の注意事項	31
4.8 屋内に設置する場合の注意事項	33
4.9 既設住宅で従来型排気延長型機器からエコジョーズに更新する場合の注意事項	33
5 設置の際の周辺留意点	38
5.1 排気筒を延長する場合の注意事項(先下がり勾配)	38
5.2 既設の排気筒、給排気管を再使用する場合の注意事項	42
5.3 ALC板、アスロック板等の軽量壁にガス機器を設置した場合の注意事項	42
5.4 点検・修理スペースや設置場所について	45
5.5 寒冷地対策	46
5.6 業務用厨房におけるFE式エコジョーズの設置	51
6 設置事例	52
参考資料	60
1. ドレン排水処理機構(中和器)の仕組み	60
2. ドレン周知チラシ	61
おわりに	63

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

8. 2030年3050万台にむけた取組み

(1) エコジョーズのドレン排水

②ドレン排水の雨水排水全国一律「可」

- ・残っている一部の自治体でも雨水排水を認めて頂くための取組み

➡ 2024年1月国土交通省下水道企画課様より再課長連絡発出

(住宅生産団体連合会様、日本ガス協会様との協働)

- ・把握している不可自治体の動向フォローと、他組織との協働による新たな取組みを計画化

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み 8. 2030年3050万台にむけた取組み

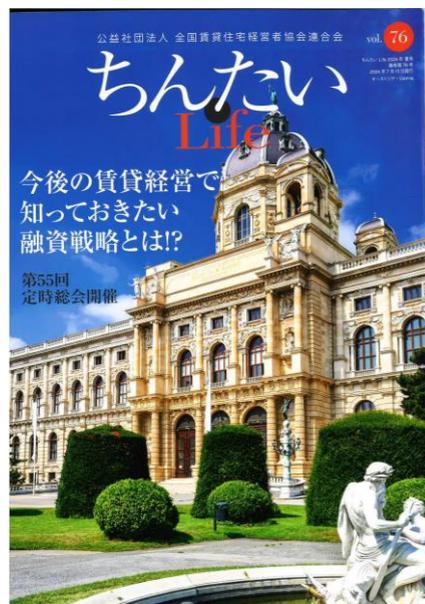
(2) エコ化が困難な賃貸住宅へのエコジョーズ導入

①賃貸集合給湯省エネ2024の活用

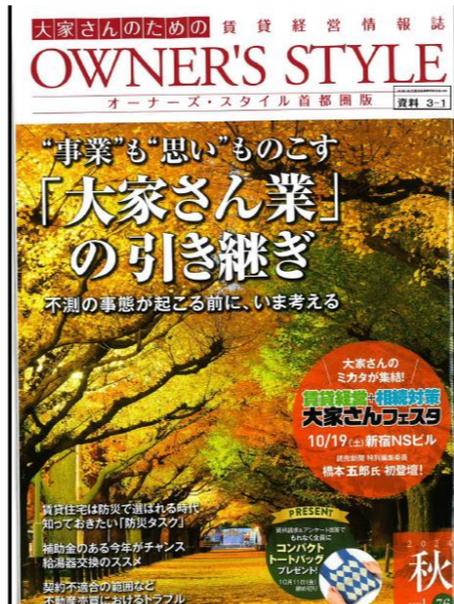
- ・賃貸オーナー、管理会社へのエコジョーズ化メリットと支援事業周知

→ 「ちんたいLife」「OWNER'S STYLE」への記事・広告掲載

日管協様総会での出展（コラボ様、ベターリビング様との協働）



(ちんたいLife)



(OWNER'S STYLE)



(日管協様出展状況)

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

8. 2030年3050万台にむけた取組み

(3) ガス・石油高効率給湯機の周知

①メディア利用によるCM展開・・・ラジオCM 20秒版

(一社) 日本ガス石油機器工業会は、今年もラジオCMを活用して、高効率給湯機の周知拡大を図ります。



ガス・石油高効率給湯機(エコジョーズ・エコフィール・ハイブリッド給湯機)の認知度向上のため、2024年4月1日から 6月28日まで、下記2局で制作番組で、CM(20秒)を放送しました。是非お聞きください。

TBSラジオ(AM 954kHz FM 90.5MHz)を
キー局として、JRN **全32局で放送**



森本毅郎スタンバイ! 日本全国8時です
(CM放送 **毎週月曜 AM8:01頃**)

※CBC 08:28 ABC08:18

ニッポン放送(AM 1242kHz FM 93.0MHz)
エリア:茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

FM93 AM1242 ニッポン放送

平日 月・水・金 天気予報コーナー 予定

ニッポン放送9:50/北海道STV8:40/青森RAB8:35

ナレーション

石川みゆき(いしかわみゆき)さん

日本で活動するタレント、声優、ナレーター、
元ニッポン放送アナウンサー。



YouTubeのJGKA
チャンネルで
試聴できます。

II. 高効率給湯機の普及促進についての取組み

8. 2030年3050万台にむけた取組み

(3) ガス・石油高効率給湯機の周知

①メディア利用によるCM展開・・・TVer CM 15秒版

6月12日～7月31日、8月26日～9月22日の間

フジテレビ系ドラマ枠にてTVer CMを配信しております。是非ご覧ください！



YouTubeのJGKA
チャンネルで
試聴できます。

最後に・・・

家庭部門でのCO₂削減目標▲66%、その中でのガス・石油高効率給湯機 2030年3050万台は非常に高い目標ですが、これに向かっていくには弊工業会だけの力だけでは足りません。ここにおられる東京都様はじめ関連する団体様、そして販売流通様との協働があってゴールに近づいていけるものと考えております。

今後ともご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました



一般社団法人

日本ガス石油機器工業会